

登山報告書

取扱注意

作成日 2022年3月1日

山行目的および山域・山名

山行目的	日帰り登山（山スクール トレッキング 1 研修登山②）
目的の山域・山名	比叡山 国土地理院 1/25000 地形図：京都東北部 昭文社：京都北山
期日	2022年2月26日（土） 天候：晴れ、山頂気温 0℃、風速 7 m/s
参加者	スタッフ3名、生徒5名（合計8名） 講師 田中、引網、谷池 生徒 CL：進藤、SL：畑中、天候：高岡、会計：西川、記録：北井

山行行程

月日	行程・ルート
2月26日	ルート 修学院駅～雲母坂～ケーブル比叡駅～大比叡～延暦寺～本坂～坂本駅 8:45 叡山電鉄修学院改札口集合 8:52 発 修学院駅 9:30 発 雲母坂登山口（打ち合わせ、準備体操を実施） 10:16 水飲対陣跡碑 11:32 ケーブル比叡駅 12:08 四明岳駐車場 12:30 大比叡（昼食休憩、アイゼン装着） 13:40 延暦寺根本中堂 15:25 日吉神社前 16:28 坂本比叡山口駅（解散）

◆総括

・当日は快晴で、風や寒さもほとんど感じない好天に恵まれた。コースはリーダが前週に下見をし、歩きにくい箇所やアイゼン装着のタイミングなどの確かな先導で全員がスムーズに行動ができ、計画通りに安全に山行できた。

◆学んだこと

・V字型に削られた斜面の間（底）を歩く登山道で、斜面から細かい土がパラパラと落ちてくるような場面があった。そのような場所では音を出さずに静かにさっと歩くという指導を受けた。

・滑りやすい場所などで足裏全体を地面につけて歩くフラットフィッティング、雪につま先を蹴りこみ登っていくキックステップの練習を行った。また、体重移動の際にしっかりと体重を乗せることや登りと下りの際の足の使い方の指導を受けた。

・講師から、リュックの種類や機能の説明があり、山行によって使い分けることや、手先の冷たさを防ぐためにビニール手袋の活用（一番下にビニール手袋をし、その上に冬山用の手袋をはめる）、手袋をしている時のための行動食の準備や取り方などについてアドバイスがあった。

・服装は以前に教えてもらった重ね着で、着脱により汗冷え対策ができた。

◆感想

・ケーブル比叡駅までは、豪雨による倒木や土砂崩れが多くみられ、登山道やその風景も変わっていくものであると実感した。

・今回で雪山は4回目となった。雪山は山スクールで初めての体験であったが、アイゼンの着脱や歩行、またアイゼンなしでも転倒しにくい歩行をしっかり身につけられたように思う。

・振り返れば、山スクールで歩き方から読図、コンパスの使い方、声を掛け合いながらの団体行動などの知識が習得できたように思う。指導いただく講師の方々や助けてくれるメンバーに感謝したい。T1コースでは残り1回の山行となるが、総復習をしながら取り組みたい。



出発前の打ち合わせ



倒木の下を歩く



山行にあったリュック選び



斜面の土が落ちてこないように
静かにさっと歩く



キックステップの練習
ななめ下に蹴るのがポイント



手先の冷たさを防ぐため
ビニール手袋の活用



野生動物（鹿!?）の足跡



登る喜び



遠くに雪山を望む



延暦寺の境内を通過



転ばないように足元に集中



凍っている場所は一步一步慎重に



浮石があるような歩きにくい道も
声を掛け合って歩く